

# 2026年度 事業計画

2026年3月

岐阜商工会議所

## はじめに

- 2025年の世界経済は、各国中央銀行による金融引き締め効果が表れ、インフレは鎮静化に向かった。その一方で、米国のトランプ政権による、「自国第一主義」に基づく一方的な経済ルールの変更や、地政学リスクの常態化が重石となり、多くの主要国で成長ペースが鈍化した。
- 国内経済は、名目GDPが600兆円を超え、賃金も2年連続で5%を上回る賃上げ率の実現するなどデフレ経済から脱却し、成長と分配の好循環が動き始めた。2026年に入り日経平均株価が堅調に推移するなど市場の期待感が高く、国内回帰を含めた企業の投資意欲も旺盛だが、この機を逃さず成長力を底上げするための環境整備が急務とされている。2期目に入った高市内閣は強力な政権基盤の下、「責任ある積極財政」への転換を掲げ、物価高対策と、AI・経済安保分野への「成長・危機管理投資」を2本柱とする大型経済対策を進める。今後は、中小企業の設備投資や実質賃金の安定的上昇等、実体経済への本格的な波及が期待される。
- 岐阜市周辺では、昨年4月に東海環状自動車道の岐阜IC、8月に東海環状自動車道 本巣IC～大野神戸IC間が開通し、岐阜都市圏と西濃方面とのアクセスが大幅に改善された。このネットワークの拡充が、岐阜市から中部圏への物流効率を高め、企業誘致や観光交流の増加への期待が高まっている。また、岐阜駅前の再開発は建築コストの急激な高騰により計画が見直された。再開発の遅れは懸念材料であるものの、これらの事業は中心市街地の未来を左右する重要な柱であり、行政、事業者間で、費用増に対応しつつ事業を推進していくための調整が続けられた一年となった。
- これからの変化の激しい不透明な時代においても、当所は事業者が将来に夢を持ち、果敢に挑戦できるよう、競争力強化や販路開拓の支援、加えてスタートアップ、事業承継、事業転換の支援を最優先に活動し、地域経済活性化に向け全力を尽くす。

# 事業活動・目次

## 1 中小企業等の支援

4～6

- (1) 中小企業支援による地域経済活性化
- (2) 創業支援
- (3) 事業継続力強化支援
- (4) 生産性向上に向けた「デジタル化」支援
- (5) 持続可能な経済社会の推進に向けた支援
- (6) 産官学連携によるビジネスマッチングの推進
- (7) 海外展開支援
- (8) 広域連携による新たなビジネスチャンスの創出
- (9) 人手不足解消に向けた人材確保支援

## 2 まちづくりへの参画

7

- (1) 岐阜市中心市街地の活性化に向けた取り組み
- (2) 観光資源・産業基盤を活用したまちづくり

## 3 観光振興

8

- (1) 岐阜市観光の魅力を全国に発信できる持続可能な観光連携体制の整備
- (2) 「ぎふ長良川花火大会」の開催
- (3) 持続可能な観光振興「長良川ブランド」事業推進

# 事業活動・目次

- 4 会員サービスの充実と組織・運営基盤の強化 9
  - (1) 会員入会促進
  - (2) 記者発表会の開催
  - (3) 会員向け損害保険制度の推進
  - (4) 福祉制度事業の推進
- 5 人材育成 10
  - (1) 各種検定試験の普及推進
  - (2) 研修・セミナーを通じた人材育成
- 6 地域産業の付加価値創造と競争力の強化 11
  - (1) 地域資源「アパレル」を活用した岐阜ブランドの推進
  - (2) 「食」に関わる観光土産品等地域資源のブランド化
- 7 社会・産業基盤の整備促進 12
  - (1) 東海環状自動車道・西回りルート建設促進
  - (2) 岐阜南部横断ハイウェイ建設促進
  - (3) 国道22号線の2階建てによる名岐道路建設促進
  - (4) 名鉄名古屋本線・各務原線鉄道立体化促進

# 1 中小企業等の支援

## (1) 中小企業支援による地域経済活性化

- 中小企業・小規模事業者の支援は、地域経済活性化に最も重要な施策である。事業者に寄り添って課題解決を図る伴走型支援に取り組む。
- 地域事業者の持続的発展を支援するための基本計画「経営発達支援計画」を指針とし、創業から事業拡大、事業転換および事業承継までのステージに応じたメニューをパッケージとして提供する。
- 事業者の収益力改善・事業再生・再チャレンジ支援については「岐阜県中小企業活性化協議会」、後継者不在など事業承継の全般に亘る問題については「岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携して取り組む。

## (2) 創業支援

- 創業機運の醸成から創業後のアフターフォローまで一貫した個社支援に取り組む。
- 創業予定者と創業後間もない事業者による「起業家交流会」を開催する。
- 「創業スクール」では、起業希望者に対し経営・財務・人材育成・販路開拓のノウハウを伝える場を提供する。
- 「ギフ アイデア ピッチコンテスト」などの開催を通し、多くの学生・社会人の創業意欲創出につなげる。

## (3) 事業継続力強化支援

- 自然災害、感染症、地政学リスクの増大など企業活動の不測の事態発生に備えるBCP計画策定について、経営支援員のスキル底上げを行い啓発活動に取り組む。
- 岐阜市及び国から本支援事業を受託した保険会社と連携し事業継続計画作成ワークショップを開催する等、リスクマネジメントの重要性の普及、計画策定支援に取り組む。

# 1 中小企業等の支援

## (4) 生産性向上に向けた「デジタル化」支援

- 中小企業・小規模事業者のデジタル化の支援を進め、業務効率化による生産性向上、収益力強化に繋げていく。
- DX・IT化を促すセミナーを開催。アフターフォローを行うとともに、専門家相談や専門家派遣を実施する。
- (公財)ソフトピアジャパンと連携し、生産性向上などの成功事例の共有ならびにシステムの円滑な導入に向けた支援等、事業者のデジタル化を後押しする。

## (5) 持続可能な経済社会の推進に向けた支援

- 脱炭素化を促進するため、必要な情報提供や支援事業者とのマッチング等を通じた支援を行う。
- 「ぎふ脱炭素社会推進コンソーシアム」の活動を推進。カーボンニュートラルアドバイザー制度を普及・促進し、人材育成を図る。
- 当所内では、2024年4月に策定した「岐阜商工会議所環境アクションプラン」に則り継続的な取り組みを推進する。

## (6) 産官学連携によるビジネスマッチングの推進

- 企業が大学等の有する知見や技術を事業活動に取り入れることができる仕掛けづくりを行い、産学融合の機会を創出する。
- 学生起業家への支援、大学発ベンチャー企業の創業支援に取り組む。

# 1 中小企業等の支援

## (7) 海外展開支援

- 発給件数、利用者数とも年々増加傾向にある特定原産地証明発給事業、非特惠原産地証明発給事業を通して、事業者のEPA締約国における国際競争力向上、貿易関連手続きの円滑化を支援していく。
- JETRO等他機関や貿易関連事業者と連携し、「トランプ関税」などによる貿易環境の変化に対応する事業者や海外展開に意欲を持つ事業者などの多様化・高度化するニーズに応えるべく、セミナーの開催や個別相談体制の構築など支援拡充に努める。

## (8) 広域連携による新たなビジネスチャンスの創出

- 地域の枠を超えた他団体との連携を強化し、会員事業者の販路拡大やビジネスマッチングを推進する。
- 異業種交流展示会への出展支援、事前調整型の商談会等を順次開催し、新たなビジネスチャンスを創出、アフターフォローにも努めていく。

## (9) 人手不足解消に向けた人材確保支援

- 人手不足が企業の大きな経営課題になっている状況を踏まえ、人材採用に関するポイントやIT・DXを活用したセミナーを開催し人材不足の中でも運営できる体制作りの提案に努める。
- 事業者に対し各種補助金の活用を促し、人材不足に対応した設備投資の支援に取り組む。
- 行政関係の支援機関や民間の人材マッチングサービスとも連携し、会員事業所の人材確保を支援していく。

## 2 まちづくりへの参画

### (1) 岐阜市中心市街地の活性化に向けた取り組み

- まちづくりの課題解決に向けて、まちづくり委員会や行政、関係団体との連携を図り、商工業の発展に資する事業の展開に努める。『ぎふまち未来ビジョンプロジェクト』と銘打ち、当所として目指すまちの将来像を協創する活動を行う。
- 2023年4月からの5か年計画である『第4期岐阜市中心市街地活性化基本計画』において目指す姿、「時間を消費したくなるような魅力づくり」と「選ばれるまちなか暮らし」の実現に向け、引き続き中心市街地の商店街及び岐阜市、関係団体とともに魅力あるまちづくりを推進する。
- 中心市街地専担の経営支援員の活動を通じて、新たな事業者の出店支援や既存事業者の経営課題解決に向けた支援を行う。

### (2) 観光資源・産業基盤を活用したまちづくり

- 岐阜駅から柳ヶ瀬、岐阜城、岐阜公園、川原町といった点在する観光資源を繋ぐ「回遊性のあるまちづくり」を推進する。
- 岐阜城からの夜景「日本三大山城夜景」など「ナイトタイムエコノミー」の視点を取り入れた「滞在型観光」を促進する。
- 地域に根付く歴史・文化・景観を磨き上げ、「地域ブランド」の確立と振興を官民一体で取り組む。

## 3 観光振興

### (1) 岐阜市観光の魅力为全国に発信できる持続可能な観光連携体制の整備

- 観光関係団体が連携・協働し、旅行者の価値観やニーズを深く捉え、観光資源の掘り起こしに尽力する。観光DXの活用、多言語化・キャッシュレス化等の整備を推進しインバウンド需要を喚起。観光消費拡大を目指す。
- 「地域ブランド」の確立と活用等、地域に人と投資を呼び込む活動を後押しする。ブランド価値の向上に直結する戦略的なプロモーションやブランディングとして位置づけ、持続可能な観光連携体制の構築、「観光の産業化」の推進に注力する。

### (2) 「ぎふ長良川花火大会」の開催

- 第4回大会は、2026年8月8日（土）に開催することが決定した。全国に誇れる花火大会として、ブランディング、知名度の向上に努め、広域的な観光振興イベントとなるよう注力する。
- 持続的に運営可能な大会となるよう諸課題の解決に取り組み、地域活性化に繋がるよう努める。

### (3) 持続可能な観光振興「長良川ブランド」事業推進

- 水辺空間の賑わい創出「ぎふ長良川水切り大会」や高付加価値のある長良川鵜飼等、清流長良川や周辺エリアの観光資源を活用した「長良川ブランド事業」の企画・開催を、行政・関係団体との連携の下、継続的に推進し、地域活性化と持続可能な観光振興の実現を目指す。

## 4 会員サービスの充実と組織・運営基盤の強化

### (1) 会員入会促進

- ・ 組織力強化、組織率向上のため会員増強に取り組む。会員メリットを訴求し、議員・会員事業所の協力を得ながら新規会員の掘り起こしに努める。

### (2) 記者発表会の開催

- ・ 会員事業所の新商品・新サービスのプロモーション・販路開拓を支援するため、経済記者クラブに対してプレゼンテーションを行う合同記者発表会を継続して開催する。
- ・ 商工会議所の強みである発信力を活用し、個別のニュースリリースについても積極的に支援する。

### (3) 会員向け損害保険制度の推進

- ・ サイバー攻撃など多角化する経営リスク対策として、会員事業所が廉価に備えることのできる日本商工会議所運営の損害保険制度を普及・推進する。

### (4) 福祉制度事業の推進

- ・ 会員事業所の従業員が安心して働ける環境作りにつながる共済制度や保険制度について、引き続き加入促進に努める。
- ・ 会員事業所従業員の健康管理に資するため、健康診断受診料補助事業を行う。

# 5 人材育成

---

## (1) 各種検定試験の普及推進

- 日商簿記検定をはじめ商工会議所の各種検定試験は、資格として社会的に高い評価と信頼を得ており、人材育成のツールのひとつとして、引き続き各種検定試験の普及を推進する。

## (2) 研修・セミナーを通じた人材育成

- 企業人材の成長の一助を担えるよう人材育成セミナー、新入社員セミナーなどを開催する。
- SDGsやDXなどの社会課題解決等のセミナーを開催することで、従業員の意識面の向上やスキルアップを図る。

## 6 地域産業の付加価値創造と競争力の強化

### (1) 地域資源「アパレル」を活用した岐阜ブランドの推進

- 岐阜市の地場産業であるアパレル産業の振興・発展、地域経済活性化を目的とする「岐阜シャツ」・「岐阜ポロ」などの更なるブランディングに取り組む。
- 岐阜市の姉妹都市であるイタリア・フィレンツェ市との経済交流の一環として、岐阜市および（一社）岐阜ファッション産業連合会と連携し、世界最大級のメンズファッション見本市「PITTI IMMAGINE UOMO」出展への支援を行う。世界市場への挑戦の後押しし、新たな販路開拓ひいては岐阜アパレルのブランド力向上に繋げていく。

### (2) 「食」に関わる観光土産品等地域資源のブランド化

- 清流長良川や鶺鴒を連想させる「鮎菓子」を地域資源・発信力として活用した販売促進イベントへの支援等を継続して行い、ブランド力の強化に努める。
- 「食」を活用した岐阜の街の活性化・岐阜の食育の推進を目指したイベント等への広報・誘客・販売支援等運営への協力を行うなど、行政と連携し「食」に関わる地域資源のブランド確立による経済活性化に注力する。

# 7 社会・産業基盤の整備促進

## (1) 東海環状自動車道・西回りルートの建設促進

- ・ 「東海環状自動車道岐阜県西部地域建設促進期成協議会」の活動を通し、西回りルートの早期完成を目指す。
- ・ 真に環状道の機能と効果が発揮されるよう、引き続き国、県、市に対して積極的な要望活動を継続的に実施する。
- ・ 2025年の岐阜IC開通後、新たなイノベーション創出が期待される「ライフサイエンス拠点」への企業誘致等に全国商工会議所への発信などを通じて積極的に取り組む。

## (2) 岐阜南部横断ハイウェイの建設促進

- ・ 早期開通に向け、引き続き要望活動に取り組むとともに、岐阜市内での工事開始に伴う渋滞緩和の取り組み「県TDMプロジェクト」の情報発信や周知、啓発活動に努める。2025年12月に岐阜市内（下奈良～茜部本郷）の立体化工事（高架橋 橋梁下部工）の起工式が開催され、今年度中の着工が決定している。

## (3) 国道22号線の2階建てによる名岐道路の建設促進

- ・ 2024年10月に愛知県で都市計画決定が告示され、一宮市の都市計画道路の早期整備が期待されるなか、県境を越えた推進団体と連携し路線延長の要望活動を積極的に展開する。

## (4) 名鉄名古屋本線・各務原線鉄道立体化促進

- ・ 2022年2月に国の事業認可を受け、2023年度から用地取得が開始されるなど事業推進が図られており、引き続き早期実現のための積極的な活動を展開する。